

藤原清衡の四男清綱が志波郡比爪(現紫波町赤石)に本拠を構え、居住地の地名を名字とし「樋爪氏」を称した。奥六郡に同族を分置しなかった清衡にしては特別の配置である。

—岩手県市町村地域史シリーズ24「紫波町の歴史」河村迪雄著—

《《《 5～6月行事予定のお知らせ 》》》

5月15日 (水曜日)	第42回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：テーマ 高橋敬明：赤石地区の紫波町指定史跡・遺跡 金濱興一：置賜郡長井の荘について
6月23日 (日曜日)	第10回定期講演会	午後2時から4時まで 赤石公民館 演題 「未定」 講師 斎藤利男氏(弘前大学教授) 参加料 500円(会員は資料代のみ)

※ 6月は定期講演会の月のため月例懇話会はありません。第43回は7月19日の開催になりますので、ご注意ください。

❖ 平成25年度定期総会・第41回月例懇話会

4月14日(日)に赤石公民館で開催。24年度事業報告・決算、25年度事業計画・予算が承認され、役員改選が行われました。役員名簿・担当業務等は裏面をご覧ください。

総会終了後、平井副会長が「治承・寿永の内乱～奥州合戦」のテーマで特別講演を行いました。参加された方は豊富な資料をもとにした明快なお話から奥州合戦の背景を学ぶことができたと思います。その後の懇親会も質素ながら“話が満開”の楽しい会となりました。ご協力ありがとうございました。

—?—?—?—?—?— 樋爪氏 / 樋爪館 —?—?—?—?—?—

Part 12

(11) 棺の学術調査

昭和25年に、朝日新聞社主催の中尊寺学術調査(ご遺体調査)が行われ、藤原三代の棺(ひっぎ)の中を調査しました。その時、三代秀衡の棺の中に納まっていた首桶から、ミイラ化した四代藤原泰衡の首とハスの種が見つかりました。

しかし、一般に知られる史実から言えば、父親の遺命に背き、守るべき義経を殺め、一族を誅殺し、平泉を炎上させて逃走した泰衡の首が、秀衡の棺と一緒に納まっているのは信じ難いことです。これまで、その首桶は兄泰衡に殺された弟忠衡のものであると伝えられ、当然のようにそう信じられて来ました。

しかし、当時の日本を代表する16人の学術専門家が調査に当たり、秀衡の棺に納めら

れていた首を精密に鑑定した結果、なんとその頭蓋骨は、忠衡ではなく兄泰衡のものであると判明したのです。

何故、当時の技術で、はるか昔の頭蓋骨から本人を特定できたのでしょうか。それは、吾妻鏡の記述にある頼朝の首の扱いにあります。

泰衡の首は、裏切って主君を殺した河田次郎自身の手によって、陣ヶ岡に滞陣中の頼朝のもとに届けられました。頼朝は河田次郎に恩賞を与えるどころか、主君殺しとして断罪します。そして、127年前の前九年の合戦当時の、偉大な先祖である頼義と敵将貞任の故事を再現し、すでに散々傷つけられていた泰衡の首を、八寸釘をうち付けて磔(はりつけ)にしたのです。

頭蓋骨の鑑定結果は…… (次号につづく)

☀ ☀ ☀ 紫波町教育委員会の比爪館関係発掘調査報告書 ☀ ☀ ☀

平成25年3月に岩手県紫波町埋蔵文化財調査報告書2012が3冊発行されました。

- ① 比爪館跡 第23次・第24次発掘調査報告書（調査年度 平成11・12年度）
- ② 比爪館跡 第28次・第29次発掘調査報告書（調査年度 平成21・23・24年度）
- ③ 比爪館跡 第30次発掘調査報告書（調査年度 平成24年度）

①では四面庇建物遺構、③では土塁状遺構や池跡(推定)の報告もあり、30次にわたる比爪館発掘調査成果の総合的研究が、更に進むための貴重な資料になるものと思われます。この調査報告書は近いうちに紫波町図書館で閲覧できるようです。

平成25・26年度 役員・担当事業等

職	氏名 (再任・新任)	兼職・担当事業等
顧問	佐々木 忠 夫 (再任)	
〃	岩 動 昭 (再任)	
会 長	高 橋 敬 明 (再任)	
副 会 長	佐 藤 雄 一 (再任)	兼、樋爪館遺跡道案内部長(再)
〃	平 井 和 夫 (再任)	兼、樋爪館関係資料集編集委員長(再)
運営委員長	佐 藤 雄 一 (新任)	遺跡めぐり (副会長兼)
〃 副委員長	石 幡 信 (新任)	講演会、会員研修
運営委員	大 沼 耕 平 (再任)	月例会 (事務局長兼)
〃	櫻 井 早 苗 (再任)	月例会 (事務局次長・会計兼)
〃	佐々木 絹 江 (再任)	講演会
〃	小笠原 悦 子 (再任)	会員研修
〃	大 沼 吉 英 (再任)	講演会、遺跡めぐり
〃	金 濱 興 一 (再任)	会員研修
〃	高 橋 泰 (再任)	月例会、遺跡めぐり
監 事	荒木田 勇 三 (再任)	
〃	箱 崎 勝 之 (再任)	
事務局長	大 沼 耕 平 (再任)	総括、事務事業全般
事務局次長	櫻 井 早 苗 (再任)	会計、庶務、事業全般
事務局員	八重畑 祐見子 (再任)	庶務、事業全般
〃	阿 部 芳 子 (再任)	庶務、事業全般
〃	松 田 良 子 (再任)	庶務、事業全般

赤石地区ひづめ館懇話会
会 員 募 集 中

会費 年額2,000円

主旨に賛同する方、どなたでも歓迎！
申込は赤石公民館内の事務局まで。

019-676-3999

ボランティアガイド

樋爪館遺跡の道案内人

コースや所要時間等については、ご相談に応じますので、ご近所お友達誘い合
って事前にお問い合わせください。

090-3125-3776(高橋)